

まちづくり懇談会を開催

10月22日から29日に町内の各地区において、まちづくり懇談会を開催し59名の町民の方に参加いただきました。その内容をお知らせします。

まちづくりの報告

● 総合戦略の推進

旧湯原小学校を活用した「ふるさと体験交流館」が10月25日にオープンしました。様々な体験や研修、合宿や宿泊等で利用していただき、滞在型の交流人口拡大のための施設として役割を果たしていきます。

今年の12月には賑わい拠点施設内にガソリンスタンド及び便利屋商店をオープンする予定です。便利屋商店では日用雑貨商品を取り扱うほか、現在、七ヶ宿観光開発が行っている移動販売を引き継ぐ予定です。同じく

賑わい拠点施設内にバイオマスを利用した入浴施設の工事に着手しており、来年4月のオープンを予定しています。
また、若者定住対策、担い手支援住宅の整備、子育て支援、通勤費の支援等を行い、若者の定住支援を図っていきます。

● 農業関係

中山間総合整備事業「第3期地区」を西部地区、東部地区に分けて実施します。
今年生産された七ヶ宿産米の98・4%が一等米となりました。3年に1度行われ、特色ある米作りに取り組む個人・団体を表彰するオリザ賞において、源

流米ネットワークが大賞を受賞しました。生産者にとってこれまでの活動が評価され、これからの米栽培の大きな励みとなりました。

● 林業関係

新たに来年度から交付されます森林環境譲与税の用途については、町民の皆様の意見を聞きながら森林整備に活用していきます。

● 観光関係

ダム公園の整備を進め、観光客増加を図っていきます。
長老湖周辺の観光を活性化するため、長老湖駐車場と県道51号のアクセス道路の拡幅を行いました。今後は旅行村を改修し新たな施設として誘客を図っていきます。

● 福祉関係

社会福祉協議会に委託しているデイサービスセンターは、今年から第1、第3土曜日にもデ

イサービスを利用できることとなりました。また、生活支援コーナーが安心して生活できるような地域のつながりを支援していただきます。

● 教育関係

保育所の児童が30名、小学校の児童が41名、中学校の生徒が18名となり、全体で100名に至らない状況にあります。1学年10人程度に増えるよう移住定住の推進及び子育て環境の充実を図っていきます。



意見交換

Q 移動販売を継続してほしい。
A 七ヶ宿観光開発で行っている移動販売をまちづくり株式会社引き継ぎ、継続してまいります。

Q ふるさと体験交流館の誘客をどのように考えているのか。
A 現在の交流人口(年間50万人)のうち1%の5,000人を目標にします。小中学校の合宿や企業団体等の研修、くらし研究所で年間を通して開催している自然体験等で活用していくなど、用途は多種多様であると考えています。ウインターシーズンの個人や団体でのスキーやスノーボード等の利用拡大に向けて、スキー場と連携しながらPRを図ってまいります。

Q 峠田地区の融雪道路の改善について。
A 大河原土木事務所が管理を行っているため、点検と補修について引き続き依頼してまいります。

Q 国道113号を拡幅してほしい。
A 県に毎年要望をしていますが予算に限りがあるため、今は、小原地区が最優先に進められ、町内の整備が進んでいない状況です。

Q バイオマス施設に利用するチップは町内で生産されるのか。
A 当面は町内の事業所からチップの調達を検討しています。将来的には未利用材を活用した素材の確保を図ってまいります。

Q イノシシの駆除対策について伺いたい。
A 昨年「おじろ用心棒」を約27km設置し、一定の効果があるようです。今後も対策を講じていきます。また、今年から30頭の上限がありますが、狩猟期間での捕獲も可能となりました。

Q 小中一貫校についての内容と進行状況について伺いたい。
A 小中一貫校になると小学校と中学校で校長が1人、教頭が2人の体制となります。メリッ

トとして小学校から中学校へ学習面や生活面のスムーズな移行に繋がる。県内でも一貫校が増えている傾向があり、学校生活ではある程度の人数確保が子ども達の成長にとって大切だと考えています。
現在、各PTA会長、有識者、各地区の代表からは賛同の意見があがっていると聞いています。どのような形で小中一貫校を進めていくのが今後の課題であり、例えば、小中学校の建物を集約するのかなど、関係者と協議しながら検討を進めます。

Q 婚活事業の実績について伺いたい。
A 婚活サイトの登録料を助成しているほか、婚活イベントを3回実施しました。

Q 休日に勤務している家庭向けの託児所について今後どのように考えているのか。
A 「Book&Cafe」で「らっしえ」で開設を検討しており、子育てと仕事の両立ができる環境づくりのために今後内容等について検討してまいります。

また、保育所の充実も図ってまいります。

Q 除雪機購入の助成について伺いたい。
A 新品の除雪機購入を対象に10万円を限度に助成します。7年以上経過している除雪機を買い替える場合も対象となります。

Q ガソリンスタンドについて建設費は町の予算なのか。メリットはあるのか。
A 建設費は町の予算です。ガソリンスタンドを建設することで安定的に燃料を供給することができます。

Q 次世代リーダー定住促進事業の内容は。
A 今年度から始まった事業で、若者の定住を目的に30歳未満の地域活動等を行っている若者に対し、月2万円を3年間にわたり助成してまいります。